

岐阜県における豚コレラ発生にともなう 野生動物等の侵入防止の徹底について

家畜伝染病である豚コレラの患畜が9月9日に確認された岐阜県岐阜市の養豚農場では、豚の殺処分や埋却、農場内の消毒など防疫措置は終了しましたが、この農場の半径10kmの範囲内で確保された死亡した野生イノシシの検査で、豚コレラを否定できない結果がでました。

このことから、全国的な取組みとして、当面の間、死亡した野生イノシシを確保した場合は検査を行い、豚コレラの浸潤状況を確認することとしております。

豚、イノシシの飼養者におかれましては、農場等へのイノシシ等野生動物からの病原体の侵入防止の徹底をよろしくお願いします。

豚コレラの症状

高病原性株の感染では100%の死亡率。

発熱、食欲不振、うずくまりといった一般的な症状に始まり、結膜炎、リンパ節腫脹、呼吸障害、便秘に次ぐ下痢がみられ、後躯麻痺や運動失調、四肢の激しい痙縮等神経症状が現れる。

最終的には起立困難となり死亡する。

豚、イノシシ飼養者の皆様へ

飼養衛生管理基準の遵守により、本病の侵入防止・発生予防に努めていただきますようお願いいたします。

毎日の健康観察と異常の早期発見・早期通報をお願いします。